

北海道医報へのご投稿等について

◇広報委員会◇

北海道医師会では、会員の皆さまから「学術投稿」「会員のひろば」等各種原稿を下記要領にて募集しております。是非ともご投稿いただきたくお願い申し上げます。

なお、写真作品のご投稿につきましては、ホームページに「フォトギャラリー」を設けておりますので、ご応募ください。

投稿要領

1. 原稿の締切
毎月10日までにいただいたものは原則として翌月号に掲載となります。ただし、「会員のひろば」については、受付状況により掲載号を決定します。
できるだけメール等の電子メディアでお寄せください。
2. 原稿の体裁と字数制限
(1) 原則として横書きといたします。
(2) 引用文以外は、すべて当用漢字、現代かなづかいを使用してください。
(3) 誤字、脱字、明らかな間違い等は広報委員会において訂正いたします。
(4) 1回の掲載紙面は、原則として2頁、「**会員のひろば**」は1頁を限度とします。
医報1頁は約2,200文字です。ただし、タイトル、写真、図表等を含んでおりませんのでご考慮ください。
(5) 長文原稿および連載物は、広報委員会にて採否決定の上で分割掲載、掲載号等を決めさせていただきます。
3. 原稿の訂正、返却
次の場合は、広報委員会の決定に基づき、執筆者に対し訂正を求めるか、または返却いたします。
(1) 特定の個人・団体を誹謗、中傷する内容
(2) 匿名の投稿
(3) 本誌以外に既掲載のもの、あるいは投稿中のもの（二重投稿）
ただし、特に必要と認められる場合はこの限りではない
(4) その他掲載に支障がある内容
4. ホームページへの掲載
特にお申し出のないかぎりホームページに掲載されますので、予めご了承ください。

連絡先：北海道医師会事業第一課
TEL 011-231-7661 FAX 011-241-3090
E-mail: ihou@m.douji.jp

お知らせ

日本医師会作成『心肺蘇生法CAB+Dカード』について

◇救急医療部◇

日本医師会が救急蘇生法の普及啓発のため作成・配布しております『心肺蘇生法CAB+Dカード』(二つ折り名刺サイズ)につきまして、地域住民(患者等)への配布や、各種研修会でご活用いただきたくご案内申し上げます。

ご希望の方は下記宛に必要な部数をご連絡ください。(送料無料)

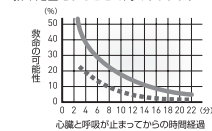
連絡先：北海道医師会事業第三課

TEL 011-231-1726

FAX 011-210-4514

E-mail 3ka@m.douji.jp

身近なあなたにかかっています。救命の可能性は時間とともに低下しますが、救急隊の到着までの短時間であっても救命処置をすることで高くなります。



出典：「救急蘇生法の指針(市民版)」(2)救命の可能性と時間経過より引用

かかりつけ医を持ちましょう
11月1日は「いい医療の日」
日本医師会

大切ないのちを救う
心肺蘇生法
日本医師会
https://www.med.or.jp 2017

心臓疾患による突然死は、皆さんで防げます!

あつ! 倒れている人がいたら、声を聴くたきながら、大声で呼びかける。反応がないときは、119番とAED! 呼吸なし、又は速切れ速切れ

C Circulation 胸骨圧迫(心臓マッサージ)
ただちに胸骨圧迫を開始! 両手を重ね、胸の真ん中を強く、速く、絶え間なく!

B Breathing 人工呼吸(省略可能)
普段から訓練を受けていて、人工呼吸ができる場合は、気道確保して胸骨圧迫と人工呼吸を30:2で

D Defibrillation 除細動
AEDが到着したら、電気ショック。患者から離れて。
心臓に電気ショックを与える「除細動」は、AEDを使えば誰でもできる手です。
※薬品、薬水、小児の心停止などの場合は、人工呼吸を組み合わせることが望ましいとされています。

救急隊に引継ぐまで、続けてください。